

1 コンパクトシティへのまちづくり

- (1) コンパクトシティに対する基本的な考え方と誘導政策はどうか。
- (2) 今後のコンパクトシティにおける地域公共交通のあり方はどうか。
- (3) 浄化槽市町村整備推進事業等を含め個別処理区域の拡大への転換など、持続的な汚水処理システムとしての下水道事業の今後のあり方はどうか。

2 情報化施策について

- (1) オープンデータの課題と今後の展開、期待される効果はどうか。
- (2) 行政側のスマホ・タブレット等の情報端末の活用、そして地域課題の解決や生活に役立つ情報提供アプリの現状と課題、市民と協働でのアプリ開発等今後の取り組みはどうか。また公衆無線LAN設備展開の見込みはどうか。
- (3) 市民等との情報の双方向性を高めることや情報弱者に対する対応はどうか。
- (4) 効率的・効果的なICT施策かをチェックする体制の構築はどうか。

3 福祉・健康施策について

- (1) 多子世帯への保育料軽減、医療費の助成拡大、給食費の軽減など子育て家庭へのさらなる経済的支援の検討状況はどうか。
- (2) 農福連携について、研究の進展はどうか。
- (3) ダブルケア家庭の特別養護老人ホームや認可保育園の入所優先度はどうか。その現状と優先度を高めるような対応はあるのか、それ以外にもダブルケア家庭に対する負担軽減の対応はあるか。

- (4) 地域在宅医療推進の取り組みはどうか。
- (5) 市立総合病院が J・M・S 賛同医療機関として登録をし、この取り組みを実施してはどうか。また乳がんの早期発見のため自己検診補助グループ（ブレストケアクラブ）の啓発はどうか。
- (6) 乳幼児健診等における発達障害対応について
 - スクリーニングの方法について、「専用の質問紙（M - C H A T、P A R S 等）」を使用しているかどうか。
 - 健診における発達検査の実施はどうか。
 - 健診後の相談の頻度はどうか。
 - 診断補助装置（ゲイズファインダー）を活用した健診はどうか。
 - ペアレントメンターにより保護者の相談に対応する仕組みはどうか。
 - 保護者に対して療育の必要性や発達障がいの正しい理解を伝える集団指導（ペアレントトレーニング）の実施はどうか。
- (7) 国の補正予算を活用しての結婚支援施策の拡充はどうか。
- (8) 未婚の親における寡婦控除のみなし適用について、市の事業のうち何事業で適用となるのか、適用世帯は何世帯になるか伺う。

4 防災・防犯について

- (1) 国における 2 次補正等を活用した防災・減災対策はどうか。
- (2) 災害図上訓練 L O D E は、比較的狭い範囲を対象とする訓練として有効と思うが、地域特性に応じて導入を検討・検証してはどうか。
- (3) ホットスポット・パトロールを推奨してはどうか。

5 教育関連課題について

- (1) 今後展開される見込みのプログラミング教育、アクティブ・ラーニングの予想される教育効果と課題、そしてその対応はどうか。
- (2) 学校に対する不当と思われる苦情・要求等の現状と対応はどうか。
- (3) フリースクール等と教育委員会の連携の現状と今後の対応はどうか。
- (4) 公益社団法人による「いじめ&不登校」調査を継続して支援し、その成果であるプログラムを活用して、いじめ等問題行動のない磐田市の教育を目指してはどうか。